

自然との共生 かさま



# 第3次 笠間市環境基本計画

令和8年度～令和12年度

笠間市  
令和8年3月



## はじめに

本市は、北西部に国見山や仏頂山などの八溝山系の山々が穏やかに連なり、南西部は吾国山や愛宕山などの山地丘陵地帯、中央部には佐白山、北山公園といった自然環境を有し、中央部を貫流している涸沼川などの河川や農地、平地林も広がり、この豊かな自然の恵みを受けながら発展してきました。

本市では、このかけがえのない自然を次世代に引き継ぐとともに、快適で住みよい環境づくりを推進するため、2008(平成20)年3月に「笠間市環境基本計画」、2016(平成28)年3月に「第2次笠間市環境基本計画」を策定し、「豊かな自然との共生 水と緑の里 かさま」を目指す将来の環境像として計画を進め、使い捨てプラスチックの削減や、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする取り組みなど、環境負荷ゼロへの挑戦をはじめとする様々な施策とともに、環境をめぐる社会の動きに合わせて、2021(令和3)年3月に計画の見直しを行い、積極的に計画の推進を図ってきました。

現在、国内外で気候変動や生物多様性の損失など、さまざまな環境問題が深刻化している中で、脱炭素社会の実現や自然再興(ネイチャーポジティブ)など、環境をめぐる社会動向は大きな転換期を迎えています。私たちの生活環境においても、地球規模から日常生活に関わる問題まで、多岐にわたって影響を受けています。このような背景を踏まえ、本市の環境に関する取り組みを一層推進するために、わかりやすい計画を念頭に、「第3次笠間市環境基本計画」を策定しました。

本計画は、目指す将来の環境像を「自然との共生 かさま」として掲げ、健全な生態系を保全し、自然の恵みを持続的に享受することのできる、人と自然環境が調和をもって共存するまちを目指し、市民、事業者、民間団体や滞在者・来訪者、そして市がそれぞれの役割のもと協働し、本市の豊かな自然環境を次世代に引き継ぐための取り組みを継続して推進していくものです。皆様方には、本趣旨をご理解いただき、環境に対しましてより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、本計画の策定にあたり、熱心にご審議いただきました笠間市環境審議会委員の皆様をはじめ、アンケート調査や市民ワークショップにご協力いただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。

令和8年3月

笠間市長 山口伸樹

# 目次

第1章 環境基本計画とは？	1
1. 計画策定の背景及び目的	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 計画の対象範囲	2
4. 計画期間	2
5. 第2次笠間市環境基本計画の取り組み状況	3
6. 各主体の役割	6
第2章 環境問題の現状は？	7
1. 国際的な動向	7
2. 国の動向	9
3. 茨城県の動向	11
第3章 本市が目指す将来の環境像は？	13
1. 本市が目指す将来の環境像	13
2. 環境目標と施策体系	17
第4章 私たちは何をするの？	19
1. 田園風景が美しく文化と調和した自然環境	19
2. 住み心地がよく健やかな生活環境	24
3. 地球温暖化防止へ貢献する脱炭素社会	29
4. 資源を有効活用する循環型社会	36
5. 共に考え自ら行動する各主体による協働	40
第5章 力を入れる重点事業は？	44
1. 重点事業の位置づけとねらい	44
2. 重点事業の方針	44
3. 重点事業の内容	44
第6章 どうやって計画を進めるの？	47
1. 推進体制	47
2. 進行管理	48
資料編	49
1. 笠間市環境基本条例	50
2. 笠間市環境審議会への諮問及び答申	53
3. 笠間市環境審議会 委員名簿	55
4. 策定の経過	56
5. 各部の主な取組	57
6. 環境指標一覧	59
7. 用語集	61